

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和7年3月末現在では、佐倉市の総人口168,914人に対し志津地区の人口が74,209人となっており、その割合は43.9%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTロリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和7年3月末現在】

- | | | | |
|------------|------------------------|-----------|--------------------------|
| ○志津地区：面 積 | 18.52km ² | （佐倉市：面 積 | 103.69km ² ） |
| ○志津地区：住基人口 | 74,209人 | （佐倉市：住基人口 | 168,914人） |
| ○志津地区：人口密度 | 4,006人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,629人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。
- 施設のメンテナンス及び不具合箇所の早期修繕に努め、良好な学習環境を維持する。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

5. 施設の提供

- ・開館日時
 - ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 - ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 - *夜間の使用申込がない場合は17時で閉館
- ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数 (件)	2,226	5,343	6,373	6,791	6,903
利用人数 (人)	20,144	45,978	63,632	70,208	81,482
開館日数 (日)	235	333	333	334	333

令和6年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,660	2,121	58.0%
220会議室	3,660	1,844	50.4%
201会議室	3,660	1,710	46.7%
202会議室	3,660	1,805	49.3%
調理室	3,660	677	18.5%
310会議室	3,660	1,811	49.5%
和室	3,660	913	24.9%
401会議室	3,660	1,772	48.4%
アトリエ	3,660	1,816	49.6%
大会議室A	3,660	2,436	66.6%
大会議室B	3,660	2,732	74.6%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	「伝える力“自分の気持ち”ちゃんと言えてる？」	成人 20人	8/31 10人	親が子どもとの関わり方やコミュニケーションを工夫する必要があるため、伝える力の重要性や、子どもに伝える力を身につけさせるためのコツを学ぶ。
青少年教育	志津子ども教室	小学生 8/4 20人 8/6 午前午後 各20人 12/25 10人 12/26 20人	小学生 8/4 9人 8/6 午前18人 午後22人 12/25 8人 12/26 9人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/4 仕事体験 8/6 勾玉づくり 12/25 子ども書道ひろば～書初め～ 12/26 社会科見学～ライブハウス～(小学生～高校生)
	つじぎり作り	小学生以上(親子等参加可) 20人	11/30 20人	地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、つじぎり作りや学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。
	ちょこボラ(公民館でちょこっとボランティア)	高校生	通年	公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。今年度は高校生が志津公民館まつりでプログラムの作成を実施
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月12回 土曜日 開講式 5/25 閉講式 12/14 講座 5/25～12/14	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をおとして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月12回 月曜日 開講式 5/25 閉講式 12/14 講座 5/25～12/14	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び、地域への還元を図る。
	みんなの家政学	成人 30人	5月～12月12回 金曜日 開講式 5/25 閉講式 12/14 講座 5/25～12/14	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学講座 「志津探訪～春の野草観察～」	成人 10人	5/10 10人	志津地区の自然を散策しながら、春の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 15人	10/22 11人 10/29 11人 11/5 12人 11/12 12人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/22 基礎知識編 10/29 遺跡の紹介 11/5 遺跡の見学 11/12 今後のあり方

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 「成田道を歩く」	成人 10人	10/24 9人 10/31 6人 11/ 7 10人 11/14 9人	江戸市民の成田詣で賑わった「成田道」を佐倉から成田山まで歩き、道沿いの史跡や周辺地域の歴史も含めて理解する。 10/24 座学 10/31 散策：佐倉新町おはやし館～京成酒々井駅 11/ 7 散策：京成酒々井駅～公津の杜駅 11/14 散策：公津の杜駅～成田山新勝寺総門
	佐倉学講演会 「一万年後に残したい遺跡～佐倉市飯郷作遺跡～」	市内在住・在勤 100人	3/8 65人	千葉県立佐倉西高等学校近辺にある飯郷作古墳について学ぶことで、郷土の理解を深める。
成人教育	「夏草、秋草の絵を描こう」	小学生以上 (親子等参加可) 10人	9/21 11人	日常に自然と親しむ楽しさを体験し、暮らしに取り入れたい植物や、自然観察の楽しみを学ぶ。
	【能登半島被災地支援】 ヨガ講座 ①マットヨガ ②椅子ヨガ	成人 ① 30人 ② 40人	①7/4 24人 ②7/11 29人	健康維持のためのヨガ体験。 【能登半島被災地支援】につなげていくことを併せて目的として会場内に募金箱を設置。
団体育成	志津公民館まつり	公民館利用 サークル	9/28. 9/29 10/ 4～10/ 6 参加サークル53 来館者 770人	志津公民館で日頃活動しているサークルの発表・展示・活動体験を行う。
	サークル運営研修会	公民館利用 サークル	通年	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。令和7年度4月実施
	調理室サークル懇談会	公民館調理室 利用サークル	通年	調理室利用サークルの交流と共通理解を深める
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	市内主要施設 配布 ホームページ に掲載	9/15、3/1 各600部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

幼少期のうちからつけておきたい「伝える力」の講座

「伝える力“自分の気持ち” ちゃんと言えてる？」

①開設趣旨 親が子どもとの関わり方やコミュニケーションを工夫する必要があるため、伝える力の重要性や、子どもに伝える力を身につけさせるためのコツを学ぶ。

②募集対象 成人20名

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	8月31日(土)	コミュニケーション講座	子育てに興味のある方に向けての学習	千葉県スクールソーシャルワーカースーパーバイザー 飯野 弥生

④講座を終えて 親が子どもに自分の気持ちを伝えることができているか、あるいはその逆に、子どもが親に自分の気持ちを言えることができるかは難しい。

子どもが悪いことをしたときに伝えることは「具体的な行動(走ってはいけない所では歩いてと伝える)」「肯定的な表現(ほめる)」「気持ちに理解を示す(共感)」である。否定的に「～しないで、したらダメ」では何がダメなのか伝わらないからである。

飯野氏はこれらの方法を実践できるように1枚のカードにまとめた「ちはっさく」を使ってロールプレイングを行い、子どもへの対応技術の一部を簡単に練習する方法を示し、否定的な表現と肯定的な表現をわかりやすく提示してくれた。

すぐに効果のものであるものではないが、子どもの行動を前向きに捉えることでコミュニケーションが楽になると締めくくった。これは親子間だけではなく大人同士にも言えることであり、参加者には本日の講座の内容をぜひとも生かしてほしいと思う。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、こどもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生 ライブハウス見学のみ小学生～高校生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 4日(日)	仕事体験	大人の仕事を体験する ワークショップ	千葉土建一般 労働組合佐倉 支部志津東分 会
2	8月 6日(火)	勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、 実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育 振興部文化財課 西村 壇
3	12月25日(水)	子ども書道ひろば ～書初め～	日本の伝統行事に親し み、書道を学ぶ	佐倉市書道部
4	12月26日(木)	社会科見学 ～ライブハウス～	地域への愛着心を育み、 利用している方の話を 聞く	佐藤 洋彦 SoundStream Sakura 店長 白 幡 延幸 他

④講座を終えて 佐倉市広報、佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式 LINE での募集を行った。仕事体験での職人の話は、自分の職業の話をしてもらい、司会の山田さん(電気工)がこどもになったつもりで質問し、その質問に職人さんが答えるといった言葉の掛け合いをしながら進み、家づくりにはたくさんの人が関わっているという話をしていた。

タイル貼り作業は、予め接着剤が塗られている木板にタイルシートを貼り、目地に接着剤を塗って、全体が乾いたら、接着剤等を拭き取るといった工程で進んだ。

高学年の子どもは自分一人で行えるが、低学年の子どもは、木板に張り付けるときにまがったり、貼る面が違ったりして難しそうであった。7人の職人が手伝ったがもう少し制作時間をとればよかったと課題が残った。

勾玉づくりでは、自分で作った勾玉を持ち帰って自慢できるようなものとなった。

夏休みの思い出の品にもなり、大変盛り上がっていた。

冬は、子ども書道ひろば～書初め～と社会科見学～ライブハウス～を行った。子ども書道広場に参加した児童は、不慣れな太筆で見本を見ながら書くのは大変そうだったが、伸び伸びと書けている部分など良いところを見つけてほめてあげて、進んで練習している姿がみられた。

社会科見学は、若年層が公民館を利用する機会が増やせないかという課題に対して、中高生向けの講座として企画した。市の広報や市のホームページは、中高生に情報が伝わりにくい。また、部活動に参加している子どもたちも多く、公民館講座に参加しにくい状況から、事業進めていくうえで難しい面が多かった。参加者を募るにあたって、対象者を小学生も参加可能とし、児童センター入口にポスターを貼り、募集期間を延長するなどの館内周知を図った結果、小学生と保護者、高校生と保護者が参加する形で開催できた。ライブハウス及び出演者によるリハーサルを見学した。アンケートからライブハウスの仕組みを見学したことにおいて、評価はあったため、企画の段階で、ターゲットとなる対象者をどうするかについて検討する必要がある。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第35期）

- ①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

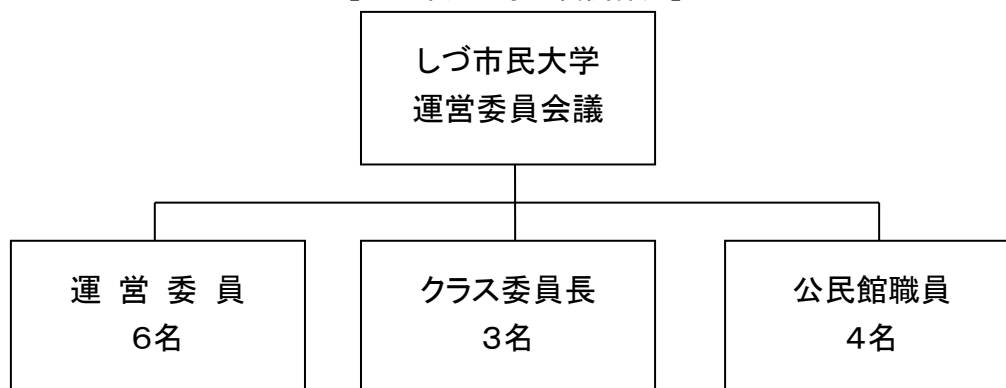
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域連帯への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

- | | | |
|----------|----|-----|
| ・しづ学入門 | 成人 | 30人 |
| ・健康とくらし | 成人 | 30人 |
| ・みんなの家政学 | 成人 | 30人 |

③学習目標

- ・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。
- ・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。
- ・みんなの家政学 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月25日(土) 13:30～16:00	開講式 記念講演「ボランティアライフのすすめ～意味ある自分と出会うとき～」 【志津公民館 大会議室AB】	アクティブ・シティズンシップ研究所 (ALCE) 代表 興梠 寛
2	6月 8日(土) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月29日(土) 9:30～12:00	志津の話-いまむかし- 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	7月 6日(土) 9:30～12:30	印旛沼の変遷 湖沼の生態系(現状と課題) 【志津公民館 大会議室A】	千葉県水産総合研究センター 内水面水産研究所 職員
5	7月27日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地区のあゆみ 【志津公民館 大会議室A】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	9月 7日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市文化課 職員
7	9月21日(土) 9:30～12:00	志津の地名について 【志津公民館 大会議室A】	佐倉地名研究会 田中 征志
8	10月26日(土) 9:30～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A】	國學院大學 准教授 川名 禎
9	11月 2日(土) 9:30～12:00	日本遺産北総四都市江戸紀行の概要について 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市文化課 職員
10	11月16日(土) 9:30～12:00	志津地域散策 【志津地区】	NPO法人 佐倉一里塚ガイドボランティア
11	12月 7日(土) 9:30～12:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市史編さん委員 中澤 恵子
12	12月14日(土) 9:30～13:00	閉講式・記念講演「日本映画おもやま話」 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	日本アカデミー賞協会 会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月25日(土) 13:30～16:00	開講式 記念講演「ボランティアライフのすめ～意味ある自分と出会うとき～」 【志津公民館 大会議室AB】	アクティブ・シティズンシップ研究所 (ALCE) 代表 興梠 寛
2	6月 3日(月) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月17日(月) 9:30～12:00	お茶の文化と健康 【志津公民館 大会議室A】	㈱小川園 代表取締役会長 小川 勝寛
4	7月 1日(月) 9:30～12:30	口から始まる健康習慣 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市健康推進課 職員
5	7月29日(月) 9:30～12:00	やってみよう、KYT(危険予知トレーニング) 【志津公民館 大会議室A】	成田富里徳洲会病院 医療安全管理課 副看護部長 荒澤 恵子
6	8月 5日(月) 9:30～12:00	避難所体験(カードゲーム) 【志津公民館 大会議室A】	日本赤十字社千葉県支部救護福祉部救護係長 伊藤 善春
7	9月 2日(火) 9:30～12:00	耐震、知っておくと安心！ 【志津公民館 大会議室A】	(公社)千葉県建築士事務所協会 印旛支部長 小杉 敬太郎
8	9月30日(月) 9:30～12:00	腰痛予防教室 【志津公民館 大会議室A】	成田赤十字病院リハビリテーション科 理学療法士 石神 章
9	10月 8日(火) 9:30～12:00	捨てたゴミはどこへ行く？ 【酒々井リサイクル文化センター】	佐倉市、酒々井町清掃組合 職員
10	10月21日(火) 9:30～12:00	太極拳を体験しよう 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市武術太極拳連盟 中辻 幸子、飯寺 和子、家崎 玲子
11	11月18日(月) 9:30～12:00	回想法による認知力の維持 【志津公民館 大会議室A】	社会福祉士、介護福祉士、認知症ケア専門士 山中 敏子
12	12月14日(土) 9:30～13:00	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	日本アカデミー賞協会会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「 みんなの家政学 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月25日(土) 13:30～16:00	開講式・記念講演「ボランティアライフのすすめ～意味ある自分と出会うとき～」 【志津公民館 大会議室A・B】	アクティブ・シティズンシップ研究所 (ALCE) 代表 興梠 寛
2	6月 7日(金) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月14日(金) 9:30～12:00	和の食卓レシピを楽しもう(講義) 【志津公民館 大会議室A】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
4	6月21日(金) 9:30～12:30	和の食卓レシピを楽しもう(調理実習) 【志津公民館 調理室】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
5	7月26日(金) 9:30～12:00	消費トラブルの傾向と対策 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市消費生活センター消費生活指導員 門脇 かよ子
6	8月30日(金) 9:30～12:00	今日からあなたも洗濯上手 【志津公民館 大会議室A】	和洋女子大学 家政学部服飾造形学科 桑原 里実
7	9月20日(金) 9:30～12:00	健康をつくる食事(講義) 【志津公民館 大会議室A】	栄養士 六崎 美知代
8	9月27日(金) 10:00～12:00	健康をつくる食事(調理実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
9	10月18日(金) 9:30～12:00	今を楽しくする整理収納 【志津公民館 大会議室A】	整理収納研究所 代表 桑原 美栄子
10	11月 8日(金) 9:30～12:00	認知症との上手な付き合い方 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市志津南部地域包括支援センター 職員
11	11月29日(金) 9:30～12:00	今から、取り組もう!防災講座 【志津公民館 大会議室A】	明治安田生命保険相互会社 派遣講師
12	12月14日(土) 9:30～13:00	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	日本アカデミー賞協会 会員 伊東 芳幸

⑤講座を終えて 「しづ学入門」 自らの学び経験をととして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、唯一の外の学習である11月16日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。今年度は天気にも恵まれ実施することができた。

「健康とくらし」 自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをととしてこころとからだの健康を保つことを目的に学習した。本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっており、健康にまつわる講義や体操の実技においては熱心に聴く姿が見られた。全体を通して、レクリエーションやワークショップが多い講座となるが、来年度においても学ぶ楽しみと活動するよろこびが感じられる学習の場に応えられるよう計画していきたい。

「みんなの家政学」 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家計の管理など、多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを目的に学習した。さまざまな情報が簡単に手に入る世の中だからこそ、正しく役立つものを見極める力を養うことが大切だということが理解できたとの感想が多かった。

佐倉学講演会「一万年後に残したい遺跡～佐倉市飯郷作遺跡～」

①開設趣旨 本講座は「志津の歴史について学んでみたい」という方々を対象に「佐倉学」の普及を図りながら郷土愛を育み、郷土の関心を高め、郷土の創生に繋げることを目的とする。

②募集対象 成人 100名

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月 8日(土)	千葉県立佐倉西高等学校近辺にある飯郷作古墳について学ぶことで、郷土の理解を深める。	公益財団法人千葉県教育振興財団房総のむら 主任上席研究員 白井 久美子

④講座を終えて 今回は、千葉県立佐倉西高校の敷地内にある「佐倉市飯郷作遺跡」に関わりのある講師をお呼びした。

1, 700年前の古墳時代に築かれた飯郷作遺跡は、佐倉西高校の建設に伴い、昭和51年から昭和52年に発掘調査され、遺跡の一部は現状のまま佐倉西高校に保存されている。

講師は調査当時の遺構図や出土品の画像のほか、飯郷作遺跡と同じ時期に全国各地にどのような古墳が広まっていたのか、なぜ東日本に同型の古墳が集中したのか比較し、飯郷作遺跡は豪族たちがヤマト政権に対抗し力を示すために作った古墳の一例ではないかと締めくくった。

なお、今回は特に講師の説明がわかりやすかったとの感想が多かった。ふんだんな画像による説得力、構成の巧みさ、声の聴きやすさも相まったものと思われ、アンケート回答は「満足」「ほぼ満足」で100%の結果であった。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習

成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月22日(火)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 遠藤 瞳子
2	10月29日(火)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 5日(火)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月12日(火)	遺跡の今後について	文化課職員 松田 富美子

④講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

アンケートでは、当時の人々の生活状況を思いおこし感銘を受けた、どのような「心」をもって生活していたのか強く感じた、などの感想があった。参加者全員が講座内容に満足という結果を得た。

佐倉学入門講座 成田道を歩く

①開設趣旨 江戸から佐倉城下を経て成田山新勝寺に向かう成田街道は、江戸時代の初め、上総や下総の大名が参勤交代で通行した道である。そのため、宿場が整備され、街道周辺には現在も道標や常夜灯、石仏、石碑、道路元標といった近世・近代の石造物などを目にすることができる。この「ちば文化資産」にも指定されている成田街道(成田道)は、かつて「佐倉道」とも呼ばれていた。今回の講座は佐倉新町おはやし館から成田山新勝寺総門までの区間を歴史や文化を探りながら散策することとした。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月24日(木)	成田道を歩く(序論)	佐倉道を歩く会
2	10月31日(木)	【1区】佐倉新町おはやし館～京成酒々井駅	
3	11月 7日(水)	【2区】京成酒々井駅～公津の杜駅	
4	11月14日(水)	【3区】公津の杜駅～成田山新勝寺総門	

④講座を終えて 昨年度は「佐倉道を歩く」の講座名で佐倉市民体育館前から江戸川駅までを5日かけて歩くものであったが、今回は佐倉新町おはやし館から成田山新勝寺総門までを3日に分けて散策する内容となった。佐倉を起点にしたスタートなのはどちらも同じだが、今回は下り方向なわけである。そこでタイトルも「成田道を歩く」として、

初日の座学を含めて4日間のフルプログラムでの実施となった。また、講師は昨年度もご協力いただいた「佐倉道を歩く会」の方々が務めてくださった。

初日は散策するコース全体の概要について学ぶ座学に加え、初めての試みとして参加者を2グループに分けてワークショップを行い、参加者のコミュニケーションの醸成を図った。

散策初日は当初天気心配されたが当日は良い天気となり、歩くと汗ばむほどであった。散策の3日間は全体的に天候に恵まれ、気持ちよく快適に散策することができた。案内役の佐倉道を歩く会が作成した詳細で分かりやすい資料や現地での説明のおかげで、受講生の理解度も増し、熱心に見学をしていた。全行程を踏破した方が半数にとどまったのは残念であったが、アンケートの結果からは、もともと散策が好きな受講生が多く、参加者の満足度も高い結果となっていた。

佐倉学講座 志津探訪～春の野草観察～

①開設趣旨 志津地区の自然を散策しながら、春の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月10日(金)	佐倉里山自然公園の野草・樹木を観察する	千葉県自然観察指導員・佐倉野草会会長 近藤 維久子

④講座を終えて 本講座は、自然を身近に感じることで人も自然の中に生かされている存在であり、すべての生命が自然の恩恵を受けながら共生して存在していることを学ぶ講座である。志津地区には、豊かな自然を親しむ佐倉里山自然公園がある。今後も佐倉里山自然公園の植物の生長を間近でみる体験を通して、植物への興味や関心を持つ機会を提供していきたい。

夏草、秋草の絵を描こう

①開設趣旨 季節の野草を絵に描く体験を楽しみ、植物や自然観察の楽しみ方を学ぶ。

②募集対象 小学生以上 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月21日(土)	水彩画で夏草、秋草の絵を描くワークショップ	イラストレーター・園芸家 大野 八生

④講座を終えて 小学生以上を対象として募集した。小学生から高齢者まで一緒に絵を描いて楽しめる講座が提供できた。講座中は、同じ机になった参加者が互いに絵の描き方を見たり、感想を伝えたりして、ほのぼのとした雰囲気の中で交流も図れ、学びあうことができた。参加者には、事前に準備した道具(拡大鏡・写真立てをフレームにして、自分が選んだ草をよく観察し描いていた。

植物に触れ合う楽しさと自分時間を楽しむことができると満足した声をいただいた。

【能登半島被災地支援】ヨガ講座

①開設趣旨 健康維持のためのヨガ体験。「能登半島被災地支援」として募金箱を設置。

②募集対象 成人 30人(椅子ヨガ40人)

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月4日(木)	マットヨガ	志津楽らくヨガ講師、ヨガインストラクター 押部 有美
2	7月11日(木)	座ってできる椅子ヨガ	

④講座を終えて 自分自身と向き合うこともできるヨガ体験を通して、被災地への支援となればと企画した。実際に90分間のヨガの時間は温かくて良い空気が流れていた。夏の気温が高い時期の影響で欠席された方がいたが、出席された30代から80代の年齢もヨガの経験もさまざまな方たちがヨガの時間を共にし、終わった後、お帰りになるときの皆さまの笑顔から十分楽しんでもらえたことが伺えた。

つじぎり作り

①開設趣旨 地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、体験や学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。

②募集対象 小学生以上 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月30日(土)	「佐倉に伝わる風習」を学んだ後「つじぎり作り」に挑戦する	佐倉市文化課職員 志津歴史同好会

④講座を終えて 座学部分を文化課職員に依頼。小学生には難しかった様子も見られたが、佐倉を知る良い機会であると考えている。つじぎりの作り方の説明は、1回の説明で伝わらないため、志津歴史同好会の5の方が、一人ひとりていねいに教えるというやり方で進んだ。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 令和6年度に利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用したサークル)
- ③学習内容
 - ・志津公民館の使用について
 - ・サークル活動のPR方法について
(サークル掲示板・会員募集ポスター等の活用等)
 - ・その他
- ④今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、年1回程度実施しているが、令和6年度は実施することが出来なかったが、利用時に声掛けしている。
毎年、公民館の施設・設備・使用方法を再確認したあと、活動を続けていくためにいかに会員を募集するか、方法として掲示板等の活用を説明している。
以前より「隣室の音楽の音で、サークル活動に支障がある」と意見のあった201・202会議室について、音を扱うサークルにはなるべく他の会議室での活動を検討してほしいと常時お願いしている。
多くの住民が集う公民館ゆえに、利用者と利用者の連携を図っていく必要がある。お互いに配慮しつつ、気持ちよく活動を行ってほしい。

調理室利用サークル懇談会

- ①開設趣旨 志津公民館を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 令和6年度に調理室利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用したサークル)
- ③学習内容
 - ・懇談会
 - ・清掃作業
 - ・質疑応答
- ④今後に向けて 調理室の利用サークル数はコロナ禍以前の水準には回復していない。令和元年度には、調理室利用サークルが多く半々に分けて年2回行っていた当懇談会も、令和6年度は実施することが出来なかったが、これからも利用サークルとともに調理室運営に取り組んでいきたい。

志津地区社会教育関係団体への援助

- ①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ②加入団体 単位子ども会 8団体
- ③活動内容

- ・活動支援相談
- ・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

①概要 令和３年度末で志津園芸サークル「花の輪」が卒業し、令和４年度からは個人ボランティア８名が活動を行っている。通年、敷地内の花壇等の手入れをお願いし、公民館はそれらにおける園芸活動の支援をしている。

②主な活動

- ・公民館敷地内の花壇の手入れ
- ・花についての自主学習

6. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。

②発行回数 年2回（9月・3月）

③発行部数 9月・3月：各回600部

④配布方法 市内公民館、図書館及び志津コミュニティセンターに配架

⑤内容

第256号 (令和6年9月15日)	第257号 (令和7年3月1日)
●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 「成田道を歩く」 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ※申込方法 往復はがき ●お知らせ ・志津公民館まつり	●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき

⑥今後に向けて 市内公共施設への配架、ホームページ掲載だけでは、年齢層によっては情報が行き届かない懸念もある。内容の充実を図り、手に取ってもらえる紙面を作り、配架を含めてより有効な方法を考える。